実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和８年度
助成団体	一般社団法人白岡ＳＣＬ
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	第７回　中高交流 INAC 白岡フェスティバル
助成金額	2,394,000 円

スポーツ団体スポーツ活動助成を受け、「第７回　中高交流 INAC 白岡フェスティバル」を実施している一般社団法人白岡ＳＣＬの実施状況調査を行いました。

本大会は、中学生・高校生の女子サッカーチームを対象とした交流大会であり、選手及び指導者の交流を通じて、各チームの競技力向上や選手の育成を図ることを目的として開催されています。また、中学生年代の女子選手が高校生年代へ進学後も競技を継続できる環境づくりの一環として、高校生チームとの交流機会を設け、進路や競技環境に関する情報交換を行う場としての役割も果たしています。

本大会は、群馬県草津町本白根グランド計４面を使用して３日間開催され、そのうち大会初日に実施状況調査を実施しました。当日は、約３５０名が参加し、各グランドで熱戦が繰り広げられていました。

■助成の意義

助成を受けることにより、大会運営体制や安全管理体制の充実を図ることができたそうです。これまで参加チームから審判員を選出して試合を運営していましたが、今回は有資格者による審判部を配置することが可能となり、公平かつ円滑な試合運営が実現できたそうです。また、トレーナーを常時配置することで、選手へのコンディショニングや応急対応など、安全面にも十分配慮した大会運営を行うことができたとのことです。

さらに、大会プログラムを初めて作成したことで、参加チームや大会日程の共有が図られ、選手・指導者間の交流促進にもつながったとのことです。本助成に加え、草津温泉組合の協力を得ることで大会規模を拡大することができ、前回は約１０チームで開催した大会でしたが、今回は２０チームが参加する大会として、多くの選手に試合経験や交流の機会を提供することができたそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

団体では、過年度における大会運営の経験を活かし、参加者がより円滑に大会へ参加できるような工夫を行っているとのことでした。試合の編成においては、参加チームのグランド間の移動をできる限り少なくするよう工夫し、選手や指導者の負担軽減を図っているそうです。また、全国各地から参加するチームが幅広く交流できるよう、地域が偏らない対戦カードを編成するなど、交流機会の充実にも配慮されているとのことでした。

大会回数を重ねるごとに、過年度の大会運営で直面した課題の解決や参加者から得た意見の反映を行うなど、運営方法や大会内容を継続的に見直し、改善することで、事業効果の向上に努められているとのことでした。

■所感

調査を実施した会場は、広大な敷地に複数のグランドが整備され、風通しの良い環境であったことから、暑熱対策が課題の一つとされている夏季の開催においても、選手が安全に競技に取り組める環境が確保されていました。

また、本大会には全国各地のチームが参加しており、日ごろ接する機会の少ないチームとの対戦や交流は、選手にとって刺激となり、競技への意欲向上に繋がっている様子がうかがえました。

今後も、本大会が選手の健全な心身の育成や競技継続のきっかけとなる交流の場として発展するとともに、女子サッカーの普及・発展に大きく寄与する事業として継続されることを期待しています。

（令和 8 年 7 月 22 日往査）

（写真）第 7 回　中高交流 INAC 白岡フェスティバルの様子



